

附属機関等の会議録

会議の名称	令和4年度第1回座間市市史編さん審議会		
開催日時	令和4年6月23日(木) 14時00分～15時30分		
開催場所	ハーモニーホール2階 小会議室		
出席者	金子会長、鈴木副会長、高波委員、須崎委員		
事務局	教育部生涯学習課 吉野課長、市史文化財担当職員2名		
会議の公開可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開又は一部公開とした理由			
議題	1 令和3年度市史編さん審議会議題 事務局答申 2 令和4年度市史編さん事業 年間事業方針について		
資料の名称	資料1 令和3年度 座間市市史編さん審議会諮問事項に対する事務局答申 資料2 令和4年度 年間活動方針(市史編さん事業) 資料3 令和4年度 活動計画予定表 資料4 国庫・県費補助事業について 資料5 令和4年度 刊行物編集について 資料6 令和4年度 史料調査・整理について 関連資料1 文書整理 必須要素分解図 関連資料2 写真整理 必須要素分解図 資料7 令和4年度企画展示について		
会議の結果			
議題1	答申内容について審議した結果、承認。 いくつかの事項については今後も改善に努める。		
議題2	本事業の年間事業方針について審議した結果、承認。 次回会議では経過について報告する。 会議終了後、図書館市史編さん室及び地下書庫を視察した。		

議事の概要（又は詳細）

議題 1

（資料 1 を委員全員で確認）

金子会長

書庫整理の様子という写真は、整理中の写真か、整理後の写真なのか。

事務局

だいぶ整理が進んだ状態です。元々この場所に集積されていた過去の展示パネル等が片付いており、棚にも仕分けられた資料が収められています。

金子会長

現在も整理は進められているのか。

事務局

現在も随時進めています。委員の皆様の御都合がよろしければ、会議終了後に現地を御案内いたします。

（一同了承）

鈴木副会長

2点伺いたい。まず、今後も収蔵する資料が増えることが想定され、カビが発生する等の問題も起こると思われるが、地下の書庫はどの程度の広さを確保できるのか。また、広報担当から引き受けた写真資料が大量にあるはずだが、経年による特にカラーフィルムの劣化についてどう対策するのか。

事務局

地下書庫の広さにつきましては、現在のところ第2書庫の半分強を利用可能であり、これはしばらく以前から増減していないものと思われます。写真につきましては、専用のケースはないものの、現在利用可能な保管場所のうち、最も環境が安定しているのが図書館地下であるため、今後も利用していきたいと考えます。

吉野課長

スペースについて、図書館の管理としても、蔵書が増え続けていることから、より広い収納場所を必要としており、今後の利用に関しては図書館長と継続して調整していく必要があります。

鈴木副会長

フィルムのデジタル化がひとつの大きな作業になると思われるが、その工程に至るまでに劣化を抑えられるよう努めてもらいたい。また、既に劣化してしまったフィルムの復元方法について検討してもらいたい。

鈴木副会長

元市長の星野さんのお宅に、訪問調査をする機会があったが、市史編さん時に調査しきれなかった古い資料がたくさん残っていた。例えば、生糸の取引や教育関係の資料など、貴重なものもある。これらの

金子会長	<p>資料には、所有者の判断で既に破棄され始めているものもあり、なるべく市教委で寄贈・寄託を受けて保管・調査をしてほしい。そのためにも、書庫のスペースが必要だ。</p> <p>所有者にとってはつまらないと感じられ破棄されるようなものが、時代を映す貴重な資料であることも少なくない。鈴木副会長には担当と所有者との間を取り持ってもらい、調査を進めていただきたい。</p>
鈴木副会長	<p>過去に文化財担当と市史編さん担当を一つにまとめた際に定員が一名減となった経緯はあるが、やはり市史編さん専従の職員が一名必要である。市史を編さんしていた時期には1名から2名の職員がついていたし、現在の業務を見ても、管理などの面で差し障りが出るのではないかと。</p>
金子会長 事務局	<p>全く同感である。</p> <p>図書館と市役所の営業日が違うため、図書館に常駐するという勤務体系は困難かもしれません。</p>
吉野課長	<p>業務の内容によっては図書館の営業日にあわせるということも考えられますが、実際の業務は図書館業務とは異なっており、本庁においてリファレンス対応をすることも想定されます。一名増員も検討すべきですが、従事する業務まで総合的に検討しなければいけません。</p>
金子会長	<p>市史本編の刊行は完了しているが、ある意味では、市史編さんは現在でも進行中であるといえる。常に記録すべきことがあり、新しく資料が発見され、あるいは寄贈・寄託されることもある。現在把握している資料であっても、適切に保管し、ダイジェスト版や市史改訂、また博物館ができることになれば収蔵資料としての活用を考えなければならない。このように、取り組むべき業務は多様にあるので、増員については前向きに考えていただきたい。</p>
金子会長 事務局	<p>デジタル化事業については、他自治体に遅れをとっているとも考えられるので、是非前向きに進めていただきたい。</p> <p>市のDX構想、また今後のホームページのリニューアルも踏まえて、検討していきたいと考えます。</p>

高波委員 吉野課長	<p>機構改革を踏まえた職員の勤務形態についての考えは。</p> <p>現在のところ体制が固まっていないので、多くを説明できません。ただ、事業としての目的に変化は無いので、これまでの体制を活かして引続き事務に取り組んでまいります。</p>
高波委員 吉野課長	<p>第五次総合計画に、郷土資料館整備について記載はされるのか。</p> <p>昨年度までに、郷土博物館整備に係る提言及び意見を提出した経緯から言っても、次の総合計画にも掲載する方向性で考えています。</p>
高波委員	<p>そうであれば、収蔵庫の問題も改善されるように思われる。同時に人員の問題も解決しなければならない。</p>
鈴木副会長	<p>昨年度、定例教育委員会で「郷土博物館整備に係る提言」について協議したことは評価したい。</p>
金子会長	<p>平成17年の提言についても、作成段階で教育委員の意見を聞き取り反映していた。市史編さん審議会においても、例えば今回の会議の「資料1」に「郷土資料館との関係性について」という項目が立てられていてもよい。とにかく、認識を引き継いでいくこと。</p>
鈴木副会長	<p>今回の「資料1」でいえば、「史料整理の目録」の項の「展示施設における実物展示に代表される将来的な活用可能性」という記述に、郷土博物館との関連性を感じられた。今後も継続して取り組んでもらいたい。</p>
鈴木副会長	<p>昨年度、高座海軍工廠関係者の聞き取り調査を、文化財担当者と共に行った。一方で、地下壕を埋め戻した際の公文書や写真が図書館書庫で保管されているはずである。文化財調査の効果を高めるためにも担当者同士で連携して、市史資料として保管している公文書の整理を行ってもらいたい。</p>
高波委員	<p>若い職員には、地下壕が存在した事実や、そのことを記した地図などの資料の存在を知らない人も多いと聞く。このような資料を整理し、活用できるようにしていただきたい。</p>
事務局	<p>後の議題でもお話ししますが、限られた時間と人的資源の条件下で、資料整理には優先順位をつけて取り組んでおります。この優先度については、常に検討しながら進めていきたいと思っております。</p>

議題 2	
	(資料 2, 3 を説明)
金子会長	大矢家文書は市史編さん時に調査を行ったはずだが、今後の調査予定に入っているということは、調査していなかった資料が発見されたということか。
事務局	調査対象は従来から保管している資料と同じですが、過去の調査とは異なる方法で現在の調査を進めています。すなわち、資料をデジタルカメラで撮影してデータを取りながら、年代等の情報をパソコンで入力してデータベース化するというものです。このような作業を改めて行うことによって、資料集編さん等に史料を利用する際に、史料の検索をテーマや人名ごとにコンピューター上で行うことが可能となり、より有効に資料を活用することができるようになります。
鈴木副会長	大矢家文書は相当な量があるため、職員の増員も含めて考えたほうが良いのではないか。また、紙同士が癒着していて調査が出来なかった資料も多く、以前からの課題であった。このような資料を傷めず調査できるように、資料の取扱いに慣れていると思われる県の文化財担当者等と相談しながら進めてほしい。
鈴木副会長	市史編さん事業として挙げられている企画展示だが、題材によっては文化財担当と協力することが効果的なのではないか。
事務局	資料 2 の活動方針に挙げた「座間の歴史をいろどる植物」「座間の横穴墓」(仮題)につきましては、特に文化財担当と市史編さん室職員が協力して企画をしております。今後も、それぞれがもつ資料や知見を活かせるように、積極的に連携していきたいと考えております。
金子会長	それぞれの企画展示はどこで開催するのか。
事務局	1 回目・2 回目は市役所アトリウム、3 回目はハーモニーホール常設展示室で開催する予定です。
	(資料 4 を説明)
鈴木副会長	今後、機構改革によって市史文化財担当が市長部局へ移管した場合、県・国との間の補助金に関する調整が滞ってしまうのではないかと懸念している。そのような状態に陥らないように、体制を整えておく必要がある。
高波委員	例えば防衛補助を活用して公園整備が完了した事例もあるが、市史文

事務局	<p>化財行政にも適用できるのではないかと。 よく調べて、今後研究してまいります。</p> <p>(資料5を説明)</p>
鈴木副会長 事務局	<p>内容からすると、写真資料も掲載するのか。 当時の路線図や切符など、これまでの資料集と比べて、多くの写真を掲載することになります。</p>
鈴木副会長	<p>座間駅から相模大野駅にかけの鉄道敷設工事中の写真や、相武台前駅開設当時の写真を所有している方がいるので、是非活用していただきたい。また、小田急の社章入りの大風呂写真も使っていただきたい。</p>
金子会長	<p>是非、鈴木副会長の協力も得て進めてほしい。</p> <p>(資料6、関連資料1・2を説明)</p>
金子会長 事務局	<p>「カメラの借用」とあるが、市で所有しているカメラは無いのか。 ここで借用しているカメラとは、他課（市政戦略課）の備品であるカメラのことです。</p>
鈴木副会長 吉野課長	<p>借用の手続きに問題はないか。 カメラ使用のスケジュールの都合がつく場合に、借用申請の手続きを行い、借用することができています。現在のところ、特に問題はありません。</p>
金子会長	<p>なるべく、生涯学習課で導入しておきたいものである。</p> <p>(資料7を説明)</p>
金子会長	<p>第三回の横穴墓の展示の際、ふるさとガイドの会の協力を得るとあるが、私や前任職員による事前レクチャーを行っても良いのではないかと。報告書も刊行しているが、足りない部分は勉強会を開いて説明することができる。</p>
事務局	<p>もし御指導いただけるなら、非常に助かります。</p>
鈴木副会長	<p>第二回の展示においては、高度経済成長期の写真を多く使うと思われる。資料写真を所有している市民に協力を求める場合もあると思うが、トラブルが生じないように、十分気を付けて取り組んでほしい。</p>

(以上)